佐佐木茂索
麹町區平河町二ノ二
電話九段二三四八番

芥川様

其位でこうぞ
と雑誌をつ　僕は今年の
しゃ雑誌を引　人の現金を
を書く責任を　いたる為に君の年
埼玉に送る第五号まで　まやった
今年は才ル一回沢一回計七
冊の埼玉で　皆大佛さだが元気だ。
君の知る通り　秋人も元気人で元一
て出され　ほかやっている。
僕は君の中を　陽はるまで将棋の
知恵絞り引　張りまよ

文藝春秋社用箋

しる僕の新　沢君はうまい
つ云ったが一回雑誌と何もしない
世おもしろがめ　ばめる出おすきる
る何と思はず、　思いたい出る書く
つて居る

文藝春秋社用箋

スキーは。軽かるが　明日内田五郎の印
る一〇。送る、何かの書こと来たまく

芥川

茂索

芥川様

文藝春秋社用箋